

新型コロナウイルス感染症の感染者(児童・教職員)が発生した場合の対応フロー図

【対策本部で対応(1~6)】

	1 (校長・教頭)	感染者又は家族等からの第1報を受ける。 *別紙1の内容についてまとめ、感染状況の概要を把握する。	
	2 (校長)	市教委への連絡をあげる。 *電話により、連絡を入れる。(29-5203) *休日や夜間の場合は、学校教育課長、または、主幹に電話する。	
	3 (校長・教頭)	1 対策本部を招集する。 *各チームリーダーを通じて全教職員に感染情報を共有する。 2 市教委との連携(対応を検討する) 保健所との連携(指導助言を受ける) *対策本部で内容を共有する。	
4 (原田・山根 宗正・山田 江川・木村・山本雅)	4 (校長)	1 感染者の行動記録を作成する。 *可能な範囲で時系列で整理する。(別紙1) 2 感染者との接触者リストを作成する。 *可能な範囲でまとめる。(別紙2)	4 (宗正)
5 (校長)	5 (教頭)	感染者の行動記録と接触者リストを市教委と保健所に提供する。 PTA会長、学校運営協議会会長等に電話で感染者発生情報を伝える。 *個人情報に留意する。	5 (山田)
	6 (対策本部)	濃厚接触者を考慮し、教職員の勤務体制、及び、チームの再編を行う。 *代替教員の決定など	6 (管理職・担任)
		保護者宛連絡内容を検討し、緊急メールを活用して保護者へ連絡する。 *児童の自宅待機等について連絡する。	学校医へ連絡する。 *学校医に電話で、感染者発生情報を伝える。
			学校給食の調整をする。 *臨時休業の状況を踏まえて、学校給食のキャンセル等について調整する。

【各チーム主任を中心として全教職員で対応(7~9)】

7 (原田⇒各学年)	<教務チーム> 当面の臨時日課等を調整・作成する。 *当該学年等の日課について協議し、およそ2週間分の各教科や行事等について確定する。	7 (江川⇒各学年)	<保健チーム> 感染者発生に伴う消毒、及び、今後の感染防止対策を確認し、指示する。 *汚染エリアの確定、消毒方法の検討 *今後の感染防止対策、活動制限等	7 (木村⇒各学年)	<児童支援チーム(学び係)> 準備する学習課題について指示する。(2週間分、各教科etc) *各学年で学習課題を準備する。	7 (山本雅⇒各学年)	<児童支援チーム(こころ係)> 感染者発生に伴う対応の確認し、指示する。 *感染への不安等への相談、対応 *感染者等への偏見・差別への指導 *家庭での過ごし方等
		8 (各担任)	家庭や学校での感染防止対策について再度確認し、指導する。	8 (学年主任⇒木村)	臨時休業中の学習課題の報告をする。 *各学年、各教科の学習課題等を取りまとめる。	8 (各担任)	児童へ感染者発生事実を知らせ、確認・留意事項について指導する。
				9 (各担任)	臨時休業等に係る事前指導を行う。 *今後の学習課題や健康観察について、児童に連絡する。		